

1 選択

<書き下し文・意味>

- (1) **むしろ** 寧ろ鶏口となるとも牛後と為る無かれ (鶏のくちばしにはなっても、牛の尻にはなるな)
- (2) **よりはむしろいため** 喪は其の易まらんよりは寧ろ戚め (葬儀に関しては形がととのっていることより、むしろ心から悲しむことだ)
- (3) **なからんよりは** 其の生きて義無からんよりは、固より烹らるるに如かず (正しい行いをする心がなく生きているよりは、言うまでもなく煮殺されるほうがまだ)
- (4) **じんせんよりは** 人の我を刃せんよりは、寧ろ自ら刃せん (人に殺されるよりは、むしろ自害しよう)
- (5) **むしろけんせよ** 礼は其の奢らんよりは寧ろ儉せよ (冠婚葬祭の儀式は贅沢にするよりも、むしろ質素であれ)

2 仮定その1

- (6) **もしなるなくんば** 学若し成る無くんば、復た還らず (学問がもし大成しなければふたたび故郷には戻らない)
- (7) **もししならずんば** 如し詩成らずんば、罰は金谷の酒数に依らん (もしも詩ができなかったならば、昔金谷園という別荘で起きた話と同様に、罰杯として、三杯の酒を飲ませることにしよう)
- (8) **いやしくも** 苟くも恒心無ければ、放辟邪侈、為さざること無きのみ (もしもいつも変わらない道義心がないと、わがまま勝手に悪いを行いをし、どんなことでもしてしまうのだ)
- (9) **いやしくも** 苟くも富貴とならば、相忘るること無からん (もし金持ちで身分の高い人物になったら、あなたのことは忘れないようにしよう)
- (10) **もし** 若し嗣子輔くべくんば、之を輔けよ (もしわが子に力を貸す価値があるなら、そうしてやってくれ)

<句法解説>

寧A無Bは、選択の句法。「むしろAすとも、Bすることなかれ」と読み、「Aしてもよいが、Bしてはいけない」と訳す。

与[レ]A寧Bは、選択の句法。「Aせんよりは、むしろBせよ」と読み、「Aするよりは、Bする方がよい」と訳す。

与[レ]A寧Bは、選択の句法。「Aせんよりは、むしろBせよ」と読み、「Aするよりは、Bする方がよい」と訳す。

与[レ]A寧Bは、選択の句法。「Aせんよりは、むしろBせよ」と読み、「Aするよりは、Bする方がよい」と訳す。

与[レ]A寧Bは、選択の句法。「Aせんよりは、むしろBせよ」と読み、「Aするよりは、Bする方がよい」と訳す。

若は、仮定の句法。「もし～ば」と読み、「もし～なら」と訳す。

如は、仮定の句法。「もし～ば」と読み、「もし～なら」と訳す。

苟は、仮定の句法。「いやしくも～ば」と読み、「もし～なら」と訳す。

苟は、仮定の句法。「いやしくも～ば」と読み、「もし～なら」と訳す。

若は、仮定の句法。「もし～ば」と読み、「もし～なら」と訳す。



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

古文・漢文

「はかなし」の意味は？

(A) 緑の (B) 気むずかしい (C) 気力にあふれた (D) つまらない